

区政から市政へ

”区の視点“から“動く市政”へ



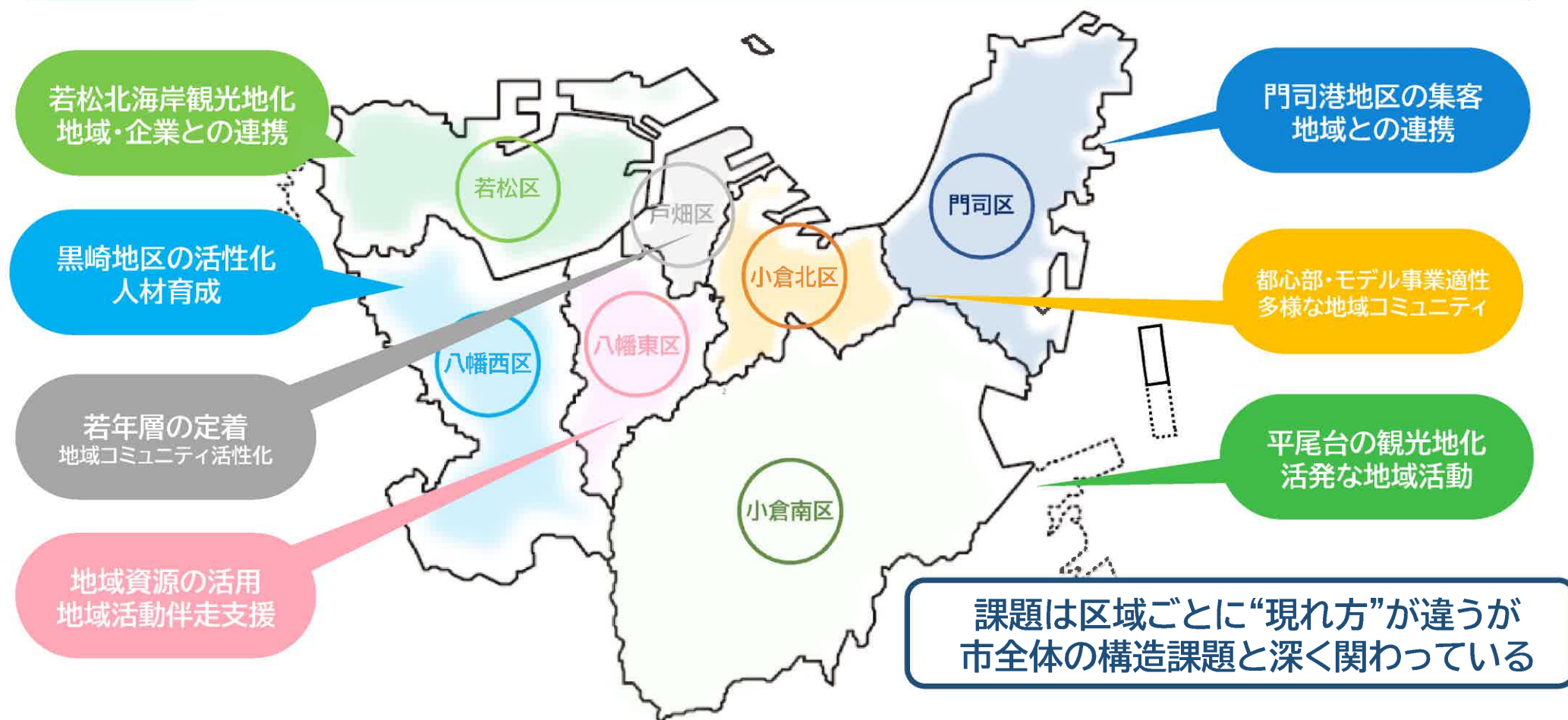
区役所が直面している課題

構造課題

●地域資源の観光・交流化

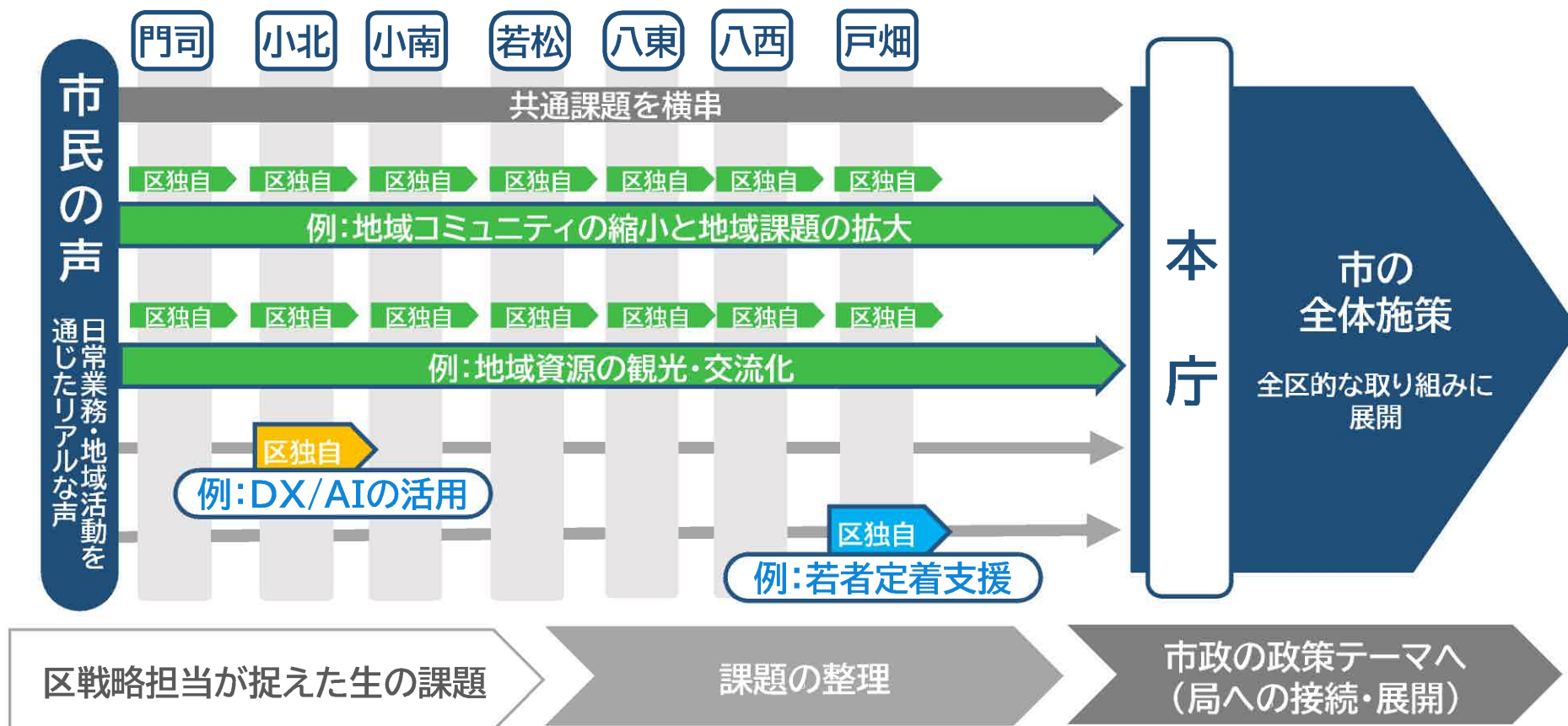
●地域コミュニティの縮小

●行政手続き・サービスの迅速化



区政の取組を市政全体へ

日頃の業務やまちの人たちとの関わりから把握する市民の声を全市的な取組へ



各区独自の取組と並行して
区の戦略担当の取組から得られた視点を市政へ展開していく必要がある

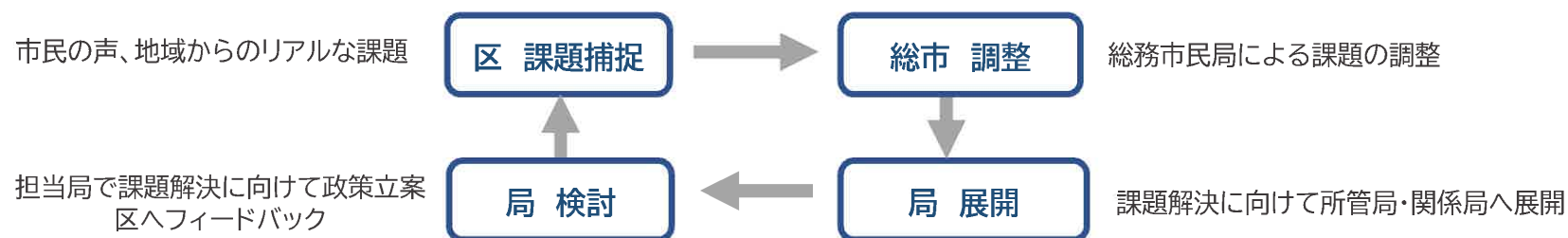
総務市民局の新たな機能

区の間組を市政へ取り込む

調整・展開機能: 区の間を束ね市の政策へつなげる機能を強化

◆7区の間組を束ね、事例を整理し「市政の俯瞰的視点」へ展開

区が捉えた間組を分析し局による政策立案へつなげる仕組みづくり



◆本庁部局へ橋渡しし、縦割りを超えて政策化を加速 区長会議、局区長会議の政策ハブ機能強化

◆区と部局のリアル連携を強化 「区長要望」制度、戦略事業予算の調整機能強化

区役所は市政を支えるまちの最前線

区の動きが市政を強くする「新しい市政運営モデル」

区の戦略担当の配置による成果と今後の方向性

- ・地域課題の把握精度の向上と戦略事業の加速
- ・区の実組を横串で、市政全体の課題として再定義
- ・部局連携により、政策実現速度を加速

区が起点となって

迅速な情報収集

地域課題の整理

政策立案へ

区の視点を起点に市政が動く仕組みを強化